

第640号



喬木村公民館：長野県下伊那郡喬木村6664



発行日 2022年7月15日
発行責任者 喬木村公民館 長 徹
市 瀬 公民館 編集部長
編集責任者 仲田 久志
印刷 龍共印刷株式会社

今年には七年に一度の御柱祭の年を迎えました。諏訪大社御柱祭は新型コロナウイルス感染症の影響を受け「山出し」はトレーラーでの運搬となり「木落とし」「川越し」は行わないと報道されています。

北地区に明神社（諏訪社）があります。（本殿は鞘殿の中）喬木村誌によると、一五二一年に知久氏が祖神の祭神として創立したと伝えられています。祭神

文化財

阿島北地区の御柱祭

文化財保護委員 市瀬 武文

「建御名方命」です。知久氏の出身は諏訪大社大祝祖となっており、諏訪



おばあちゃんと一緒に湯呑みづくりに挑戦

陶芸体験

学遊塾第二講座



新型コロナウイルスが全国にまん延し、公民館活動も延期、中止を強いられ約二年間、楽遊塾の講座も本日も二年振りに陶芸教室が

開催されました。待ちに待った陶芸教室というところもあり、富田陶芸クラブの皆様の説明が終わるか終わらないうちに早速作業に取りかかり、皆さん思い思いに作品を作りました。同じ材料、道具で作りましたが、二つと同じ作品は無く個性あふれる器が出来上がりました。



電動ろくろに見入る参加者

製作後、電動ろくろの実演をクラブ員の福山さんが見せて下さいました。ろくろの上に大きな粘土の塊を乗せ、水で湿らせた両手をそと添えてろくろの動きに合わせて、あつという間に抹茶茶碗の型が出来上がり周囲から「わ

あーっ」と歓声が上がりました。その後、本日の参加者の方が体験し、クラブ員さんのお手伝いもあり、上手に花瓶を作り上げることが出来ました。見ていた皆さんからは、「次は私も電動ろくろに挑戦したい。」という声もあがり有意義な時間を過ごすことが出来ました。（教養部）



明神社へ向かう参道

今年度の御柱祭は四月四日午後二時、県道の千代橋より「壹の柱」逢橋より「貳の柱」同時出発で明神社へ向かいました。前回は、櫓を使用し大勢の人で曳行しましたが、今回は二本の御柱の頂に幣を縛り付け、軽トラックに載せての運搬となりました。道中即興的に唄われる木遣りは、カセットテープを使

用しました。明神社本殿前に御柱が到着後、植栽し神官よりお祓いをしていただきお開きとなりました。前回は参加者も多く、道中は綱を引く人・御幣をかざす人・木遣りを唄う人でにぎやかに盛大にできましたが、今回は役員のみでの寂しい祭りとなりました。新型コロナウイルスの早い終息を願うばかりです。



植栽された御柱

参考資料 喬木村誌上巻 故林清夫氏「明神社の御柱祭」



私は喬木村に嫁いできてから、十数年になります。私の出身は喬木村よりもっとお山の方で、子ども頃は何か習い事をするにも距離的に難しく、買い物などの自然が多いのも好きです。子どもたちが産まれてからは、保育園も小学校もいつもお世話になっています。アスポの利用もさせてもらって、スポーツも子どもたちのやりたいことを体験させてもらって

起る可能性が高いとされる地震も心配なところですが、我が家でも非常食や水を備蓄し始めてはいますが、いざ足りるのかと思うと心配です。今は色々な方法でエネルギーを補ったり、雨水を生活水にして水を確保する方法など、様々なところで色々と考えられています。そういったことが可能な限り進められたら、さらに安心して生活できる村になるのかなあと感じています。喬木村で生活していく一人として、これからの喬木村を楽しみにしています！

新シリーズ

村への願い②

「嫁いだ私の感じること」

ペンネーム 和手あきこ

所でした。喬木村での生活で初めて感じたのは、便利だなーということ。スーパームも近くて飯田にも近くて買物もしやすいです。山や川などの自然が多いのも好きです。子どもたちが産まれてからは、保育園も小学校もいつもお世話になっています。アスポの利用もさせてもらって、スポーツも子どもたちのやりたいことを体験させてもらって

ていて、ありがたいと思います。次に思ったことは、喬木村出身の方々もまた喬木村が好きの方が多いんじゃないかということです。阿島のお祭りやお獅子などの行事に子ども頃からの関わりがあったり、自分自身も思っているのかなあと感じます。自分の生まれ育った村が好きで、例えば大人になって遠く土地で生活することになっても、帰ってきたときは落ち着く、子どもたちがそんなふう感じられる村であってほしいと思います。また、どこに住んでいても不安なこととは思いますが、私が不安に思うのは災害です。村でも色々と対策はしてくださっていると思います。加々須の土砂災害のようなこと、また、今後

あの時

文部科学省（スポーツ庁）で中学校部活動の改革が検討されている。休日に教科指導を行わないのと同様に、休日に教師が部活動の指導に携わる必要がない環境を整備しようとしている。学校の働き方改革。持続可能な部活動と教師の負担軽減の両方を実現できる改革を目指している。

中学校の部活動は学校単位で行われている。運動部も吹奏楽などの文化部活動も学校単位で大会やコンクールに出場することが前提である。私はこの前提を変えることなく部活動の改革はできないと考えている。学校の枠を超え、同じスポーツ、文化活動に取り組みたい生徒が集って練習し、大会やコンクールに参加していく仕組みに変える必要があると思うのだ。民間のクラブに所属するのもよし、複数の教育委員会で連携して合同部活動を推進するもよし、方法は様々あると思うが、部活動は学校対抗で競い合う場だという考えを、学校も保護者も地域も捨てるのが大事だと私は思う。部員が減少し、学校単独で大会に参加できないチームの救済措置として、複数校での合同チームを認める考え方を見直すことなしに部活動改革は進まない。関係者の英断に期待したい。（館長）

第一回学遊館広場

レッツ ダンス! 踊ってみよう!



初めまして、四月から喬木村で地域おこし協力隊に着任しました、吉川千恵です。今回は学遊館広場「レッツダンス!踊ってみよう!」の講師を行います。あまりなじみのないコンテンポラリーダンスを喬木村の小学生に体験してもらいました。

みんなポーズ! 何のポーズわかるかな? 入ってからも真剣に取り組んでくれていました。二人組のポーズ作りではいろいろなアイデアがでて見えてとても楽しかったです。これから私吉川自身でもダンスワークショップを企画していきますのでぜひ一度体験してみてください!



声を使わず、身体にも触れず、動かしてみよう!

参加した感想

ダンスは前から興味を持っていたけど、今回参加してダンスにもっと興味を持ちました。(小1女の子)

ひらひら風のように舞う動きが楽しかった。他の小学校の子と一緒に踊ることができて楽しかったです。(小5女の子)



第四十八回夜間ソフトボールリーグ戦開幕!

令和四年度の夜間ソフトボールのリーグ戦が、昨年と同じく十四チームにより、六月二十二日に開幕しました。昨年に引き続き今年も型コロナウイルス感染症対策として、二リーグ制により全体の試合数を減らしての開催となります。

Bリーグ	Aリーグ
町天狗海	伊久間エンゼルス
寺の前	上平龍王
伊久間カッターズ	南ドラゴンズ
婦牛原すきdays	富田ライオンズ
南志ら鳩	富田ブレーブス
婦牛原ドンマイズ	北久ら馬
勇龍	両平

参加チーム

に、昨年の感染症拡大による途中中止のうっ憤を晴らす熱い戦いが繰り広げられることと思います。ケガとコロナへの感染には十分注意していただきながら、十代から七十代までの幅広い年齢の選手による交流及び親睦を深めていただきたいと思います。

たかぎ短歌会

水無月歌会詠草

六月四日(土)

朝あさに色変わりゆく前山は窓を開ければ青葉の匂いす
アカシアの木群は白く際立ちて蜂は競ひて蜜集めりむ
報道はコロナとロシアの侵攻ばかり目を閉じ平和な暮らしを
祈る

小椋 りよ
木林 睦枝
内山 貴子
木下 寿子

朝の歩に聞くウグイスの調べよし三羽の輪唱峽の谷間に
思ひ切り剪定されたる梅の木は少なき枝に青き実のなる
元島 康子
田中 妙子

わが庭の花ばな日毎に咲き競ひ日がな一日眺めていたき
市瀬 准子

勿体なしまだ新しき家屋壊すりニアのためとういばかりか
知久 美子

嫁ぎ来し五十年前は蒟蒻の産地が今やブルーベリーに
内山 和子

「忘己利他」改めて識るリトアニア ユダヤ人救ふ杉原千畝
福澤 亀人

武田信玄狼煙上げ

武田信玄狼煙会では、信玄公生誕500年記念の昨年は、根羽村 柚路峠から喬木の富田城山、加々須茶臼山を經由し、甲府の躰躰が崎館(武田神社)までの狼煙リレーに成功しました。今年は地区ごと時期を分けて狼煙リレーを実施するとともに、歴史講演会を計画しています。狼煙リレーは8月27日(土)、歴史講演会は8月21日(日)です。だれでも参加できますので、興味のある方は是非参加してください。(お問い合わせは公民館まで)

第15回狼煙上げリレー

日時: 令和4年8月27日(土)
10:00 ~
場所: 富田城山公園 加々須茶臼山

歴史講演会

日時: 令和4年8月21日(日)
13:30 会場 14:00 開演
会場: 松川中央公民館<えみりあ>
演題: 「武田氏と信濃」
講師: 長野県立歴史館特別館長 笹本正治 氏

申し込みはこちらから

椋文学夏期講座

日時: 令和4年8月21日(日)
14:00 ~ 15:30
会場: 福祉センター多目的ホール
演題: 「椋鳩十とさし絵画家たち」
講師: 前信濃町黒姫童話館館長 北澤 彰利 先生

編集後記

暑い日々が続く梅雨あけとなつたと思つたら梅雨に逆もどりになつてしまつたよう。最近季節がはつきりしない感じになつてしまつた。世の中いろいろいよなニュースで気が重くなつてしまふ。コロナも、少し落ちつき、夏祭りも少しずつあちこちから開かれるみたいだ。人の交流がふえて行けば、思いも少しは晴れて行くかもしれない。やっぱり互いの顔を見て話すという事が大事なかもしれない。

(編集部)

喬木まつりに参加しよう!

●盆踊り 15日 18:30 ~ 喬木音頭からアップテンポの曲まで、みんなで楽しく盆踊りを踊ろう! 踊らにゃ損! 損!

●ゴミッション 16日 7:00 ~ 8:00 制限時間内にどれだけゴミが拾えるかな? 3人1組でチームを組んで公民館にお申込みください。当日参加もオッケーです。

ゴミッション 申込はこちらから!